

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まほうの木		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人一人の発達段階や特性に応じた個別支援計画を作成し、日々のプログラムに反映させている	日々の記録を残し小さな成長や変化をスタッフ間で共有している	学校や関係機関との情報共有
2	児童が安心して過ごせるように温かく受容的な関わりを大切にしている	児童の気持ちをまず受け止めて、話を聞くようにしている	スタッフ間での対応の統一
3	連絡帳や送迎時に保護者さんへの報告や面談を通して情報共有を行っている	気になる変化があった時は早めに保護者と共有している	家庭での困りごとにも早期に共有できる体制づくり、安心して相談できる環境づくり

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ヒヤリハットの共有体制はあるが、全スタッフへの周知徹底を強化する必要がある	ヒヤリハットの分析や再発防止策の共有が不十分	小さな事例も報告しやすい雰囲気づくり
2	活動スペースの有効活用についての工夫が必要である	限りあるスペースの中で、同線確保や安全確保の見直し	クールダウンスペースの確保、活動に応じたエリア分け。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまほうの木 ステラ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室が確立されており、児童の様子に合わせて利用することができる。	異年齢の中でも自分の意見が言えるようにスタッフが介入している。	
2	就労支援の事業所も併設しており、大人との関りが持てる機会がある。		
3	同一企業内に居宅や訪問介護があるので、保護者へのケアやサポートができる。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋の真ん中に大きな柱がある。	構造上、仕方がないとおもわれる。	仕方が無いので、仕切りとして利用し活動の空間をわけるようにしている。
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまほうの木アウラ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋が広く、身体を大きく使った運動遊びを行うことができ、子ども達が伸び伸びと過ごせる環境が整っている。	子ども達の興味や関心を大切にするため、定期的にアンケート実施し、運動遊びや製作活動の内容を検討・導入しています。ボール遊びや運動遊びを積極的に取り入れ、楽しみながら身体機能の向上や遊びを通して協調性や社会性の育成にもつながるよう工夫しています。	身体を使った遊びを通して、集団行動や運動療育の支援を行う。
2	若い職員が多く、子どもと活発に関わることができ、明るく活気のある雰囲気の中支援を行うことができる。	若い職員の特性を活かし、積極的に身体を使った遊びに参加することで、信頼関係の構築や活動への意欲向上につなげています。	職員間での情報共有や振り返りを行い支援の方法の統一や向上を図ることで、より安定した支援の提供につなげていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。	就業されている保護者が多く、保護者間での関われる機会が少ない。	保護者参観や兄弟が参加できるような企画を検討していきたい。
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまほうの木エクラ		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフの年齢層の幅が広く、子育て経験者が多い	年齢層の幅が広い事で、それぞれに役割をもち余裕をもって支援できている	研修等に積極的に参加しスキルアップを目指す
2	スタッフ間で連携が取れている	利用者の情報を連絡ツールを使用し即時共有している	共有するだけでなくより良い支援ができるよう定例会議にて話し合う
3	日々のプログラム活動が充実している	色々な特性を持った子ども達が楽しんで過ごせるよう日々の活動内容は偏らないよう工夫している	地域との交流

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災訓練等実施日に通所していない子ども達がいることがある	漏れなく防災訓練が行えるよう考えていない	防災週間等、実施日を増やす
2	保護者や地域との交流を持つ場を設けることができていない	就業されている保護者が多く日程を合わせる事が難しい	少人数でも交流できるよう開催数を増やす
3	職員の高齢化	人材不足	引き続き人材募集を継続すると共に、教育機関とも連携を取り新規人材獲得に努める